

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-01		
施設名	南千住区民事務所				
所在地	南千住七丁目1番1号アクレスティ南千住2階				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	平成22年2月1日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成22年3月29日		職員数	16	
構造	SRC造		階層	地上28階、地下1階建のうちの2階部分	
面積	敷地面積	アクレスティ南千住敷地内 m ²			
	延床面積	182.55m ² m ²			
設置目的・経緯	地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区庁舎管理規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	48台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	住民基本台帳事務、印鑑登録事務、戸籍謄抄本等交付事務、税務(収納・証明・仮ナンバー)事務、住居表示諸証明事務、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務、国民年金事務、乳幼児・子ども医療に関する事務、母子健康手帳交付事務、畜犬登録事務、建物新築・変更届事務、ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務、地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務				
対象者	一般区民				
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分(水曜日は午後7時まで)			
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始(毎月第2・4日曜日は午前9時～正午まで開所)			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	取扱件数(件)		41,561	45,063	44,360	41,868
開所日数(日)		267	268	269	264	264
に指定 等管理 費理						

備考	
----	--

III 財務諸表

(単位:千円)

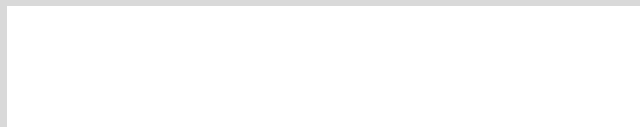
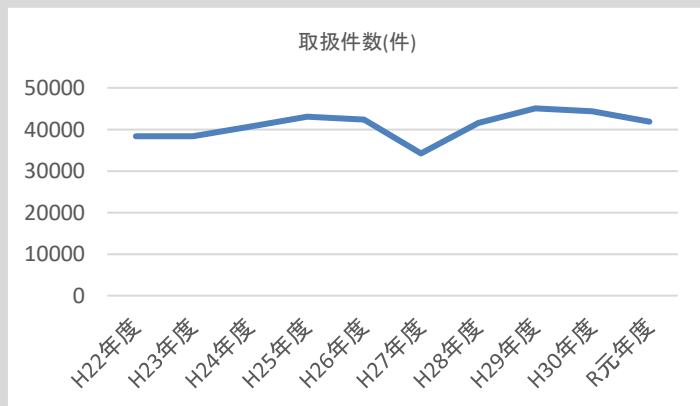
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	87,390	99,161	11,771	地方税等	0	0	0
物件費	2,189	2,271	82	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	10	132	122	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	1,935	1,935	0	使用料及び手数料	11,270	10,696	▲ 574	
減価償却費	1,875	1,875	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	11,270	10,696	▲ 574	
賞与・退職給与引当金繰入額	4,373	11,592	7,219	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 86,696	▲ 106,270	▲ 19,574	
その他行政費用	194	0	▲ 194	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	97,966	116,966	19,000	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 86,696	▲ 106,270	▲ 19,574	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 86,696	▲ 106,270	▲ 19,574	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	4,373	5,277	904
不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
有形固定資産	52,569	50,694	▲ 1,875	賞与引当金	4,373	5,277	904	
土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
建物	69,444	69,444	0	固定負債	66,407	62,718	▲ 3,689	
建物減価償却累計額	▲ 16,875	▲ 18,750	▲ 1,875	特別区債	0	0	0	
工作物等	0	0	0	退職給与引当金	66,407	62,718	▲ 3,689	
工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	70,780	67,995	▲ 2,785	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 18,211	▲ 17,301	910	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 18,211	▲ 17,301	910	
資産の部合計	52,569	50,694	▲ 1,875	負債及び正味財産の部合計	52,569	50,694	▲ 1,875	

備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費が大部分を占めている。補助費等には、アクレスティ南千住管理組合への管理費が含まれている。令和元年度は賞与・退職給与引当金繰入額が増加したため、行政費用が増加している。
----	---

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	19	22	24	27.0	24.0
	1㎡当たりコスト(円)	579,164	650,660	536,653	640,734	609,000
	人にかかるコストの割合(%)	95	94	94	95	96
	取扱1件当たりコスト(円)	2,544	2,636	2,208	2,794	2,500
	開所1日当たりコスト(円)	395,979	443,201	364,186	443,053	417,000
	ガス使用量(m³)	-	-	-	-	-
	水道使用量(m³)	84	84	84	72	75
	CO2排出量(t)	7	7	6.6	6.6	7
備考	給与関係費、賞与・退職給与引当金繰入額の増加により、開所1日あたりのコストが増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	取扱件数(件)	41,561	45,063	44,360	41,868	43,200
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口					
現状・課題	<input type="radio"/> 区民が快適に利用できるように誰もが利用しやすい機能の確保に努める。 <input type="radio"/> アクレスティ南千住管理組合と調整を図りながら、管理運営を行っていく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 今後も、アクレスティ南千住管理組合と調整を図っていく。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-02		
施設名	町屋区民事務所				
所在地	町屋二丁目8番9号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和41年3月23日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和41年4月4日	職員数	12		
構造	RC造		階層	地上3階	
面積	敷地面積		165.81㎡		
	延床面積		300.25㎡		
設置目的・経緯	地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区庁舎管理規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○ エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	10台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から
事業内容	住民基本台帳事務、印鑑登録事務、戸籍謄抄本等交付事務、税務(収納・証明・仮ナンバー)事務、住居表示諸証明事務、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務、国民年金事務、乳幼児・子ども医療に関する事務、母子健康手帳交付事務、畜犬登録事務、建物新築・変更届事務、ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務、地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務				
対象者	一般区民				
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分			
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	取扱件数(件)		40,434	40,582	38,474	36,772
開所日数(日)		243	244	245	240	243
に指定等管理費						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

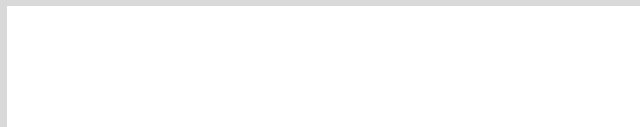
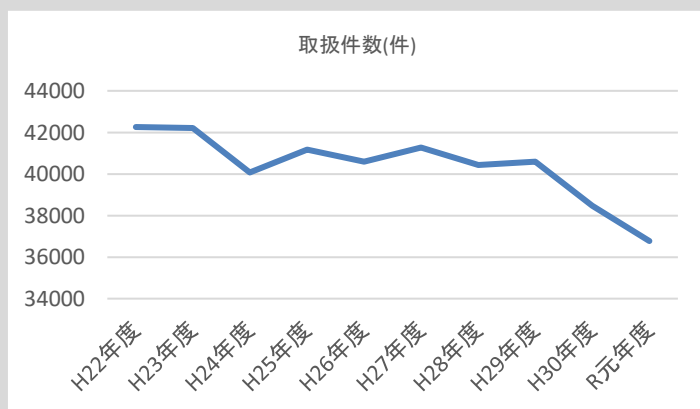
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	78,315	79,561	1,246	地方税等	0	0	0
物件費	3,802	3,690	▲ 112	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	816	373	▲ 443	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	12	12	0	使用料及び手数料	9,444	9,138	▲ 306	
減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9,444	9,138	▲ 306	
賞与・退職給与引当金繰入額	3,919	9,301	5,382	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 77,517	▲ 83,799	▲ 6,282	
その他行政費用	97	0	▲ 97	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	86,961	92,937	5,976	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 77,517	▲ 83,799	▲ 6,282	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 77,517	▲ 83,799	▲ 6,282	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,919	4,234	315
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	6,500	6,500	0	賞与引当金	3,919	4,234	315
	土地	6,500	6,500	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	14,300	14,300	0	固定負債	59,510	50,321	▲ 9,189
	建物減価償却累計額	▲ 14,300	▲ 14,300	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	59,510	50,321	▲ 9,189
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	63,429	54,555	▲ 8,874
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 56,929	▲ 48,055	8,874
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 56,929	▲ 48,055	8,874
資産の部合計		6,500	6,500	0	負債及び正味財産の部合計	6,500	6,500	0

備考 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費が大部分を占めている。賞与・退職給与引当金繰入額が増加したため、行政費用が増加している。

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1㎡当たりコスト(円)	311,133	342,728	289,629	309,532	314,000
	人にかかるコストの割合(%)	97	95	95	96	96
	取扱1件当たりコスト(円)	2,310	2,536	2,260	2,527	2,400
	開所1日当たりコスト(円)	384,435	421,738	354,943	387,238	388,000
	ガス使用量(m³)	65	68	68	63	63
	水道使用量(m³)	178	181	181	177	180
	CO2排出量(t)	13	13	13	12.7	13
備考	給与関係費、賞与・退職給与引当金繰入額の増加により、開所1日あたりのコストが増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	取扱件数(件)	—	—	—	—	39,100
	目標値	40,434	40,582	38,474	36,772	
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他() <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口					
現状・課題	<input type="radio"/> 漏水等施設の老朽化が進み、全体的に狭く、バリアフリー化が進んでいない。 <input type="radio"/> 施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 <input type="radio"/> 区民が快適に利用できるようにバリアフリー化に努め、誰もが利用しやすい機能の確保に努める必要がある。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 建替えも含め検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-03		
施設名	尾久区民事務所				
所在地	西尾久三丁目7番15号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築		国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和50年12月25日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和51年2月2日	職員数	13		
構造	RC造		階層	地上3階	
面積	敷地面積		250.63m ² m ²		
	延床面積		444.00m ² m ²		
設置目的・経緯	地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区庁舎管理規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	10台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input checked="" type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	住民基本台帳事務、印鑑登録事務、戸籍謄抄本等交付事務、税務(収納・証明・仮ナンバー)事務、住居表示諸証明事務、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務、国民年金事務、乳幼児・子ども医療に関する事務、母子健康手帳交付事務、畜犬登録事務、建物新築・変更届事務、ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務、地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務				
対象者	一般区民				
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分			
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	取扱件数(件)		34,249	35,530	33,717	32,840
開所日数(日)		243	243	244	240	243
に指定 等管理 費理						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

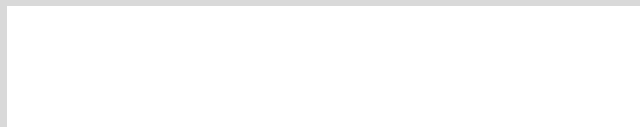
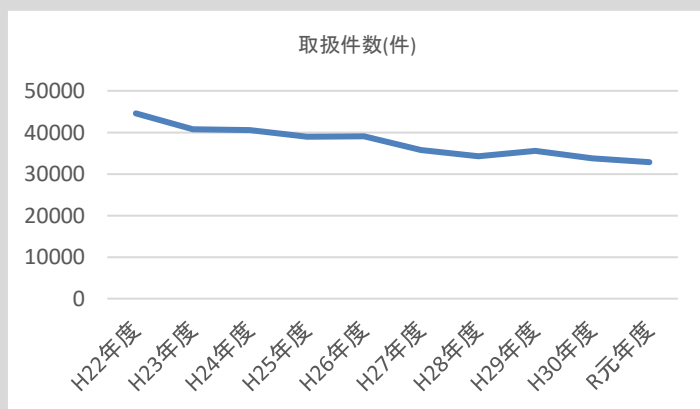
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	
	行政費用	給与関係費	76,752	77,973	1,221	行政収入	地方税等	0	0
	物件費	3,542	3,512	▲30		国庫支出金	0	0	
	維持補修費	227	975	748		都支出金	0	0	
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	
	補助費等	6	6	0		使用料及び手数料	8,273	8,149	
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	8,273	8,149	
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,840	9,115	5,275		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲76,191	▲83,432	
	その他行政費用	97	0	▲97		金融収支差額(d)	0	0	
	行政費用合計(b)	84,464	91,581	7,117		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲76,191	▲83,432	
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲76,191	▲83,432	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,840	4,150	310
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0
	固定資産	有形固定資産	41,664	41,664	0		賞与引当金	3,840	4,150
		土地	41,664	41,664	0		その他の流動負債	0	0
		建物	78,290	78,290	0		固定負債	58,323	49,317
		建物減価償却累計額	▲78,290	▲78,290	0		特別区債	0	0
		工作物等	1,287	1,287	0		退職給与引当金	58,323	49,317
		工作物等減価償却累計額	▲1,286	▲1,286	0		その他の固定負債	0	0
	無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	62,163	53,467	
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産	▲20,499	▲11,803	
	その他の固定資産	0	0	0		正味財産の部合計	▲20,499	▲11,803	
	資産の部合計	41,664	41,664	0		負債及び正味財産の部合計	41,664	41,664	

備考 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費が大部分を占めている。賞与・退職給与引当金繰入額が増加したため、行政費用が増加している。

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100
	1㎡当たりコスト(円)	209,717	226,642	190,234	206,264	207,700
	人にかかるコストの割合(%)	96	97	95	95.1	95.0
	取扱1件当たりコスト(円)	2,621	2,926	2,505	2,789	2,740
	開所1日当たりコスト(円)	383,187	412,414	346,164	381,588	380,100
	ガス使用量(m³)	46	46	46	43	43
	水道使用量(m³)	206	195	195	177	189
	CO2排出量(t)	15	15	15	14.5	15
備考	給与関係費、賞与・退職給与引当金繰入額の増加により、開所1日あたりのコストが増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	取扱件数(件)	目標値 —	—	—	—	34,100
	実績値	34,249	35,530	33,717	32,840	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口					
現状・課題	○施設の老朽化が進み、全体的に狭く、駐輪場が不足しており、バリアフリー化が進んでいない。 ○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 ○区民が快適に利用できるようにバリアフリー化の推進や駐輪場の確保に努め、誰もが利用しやすい機能の確保に努める必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○建替えも含め検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-04		
施設名	仮設日暮里区民事務所				
所在地	東日暮里六丁目19番12号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築		国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成26年3月16日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成26年4月14日	職員数	12	0人	
構造	RC造		階層	地上2階	
面積	敷地面積		536.12m ² m ²		
	延床面積		435.12m ² m ²		
設置目的・経緯	地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区庁舎管理規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	30台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	住民基本台帳事務、印鑑登録事務、戸籍謄抄本等交付事務、税務(収納・証明・仮ナンバー)事務、住居表示諸証明事務、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務、国民年金事務、乳幼児・子ども医療に関する事務、母子健康手帳交付事務、畜犬登録事務、建物新築・変更届事務、ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務、地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始				

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	取扱件数(件)		40,612	40,376	40,023	39,675
開所日数(日)		243	244	245	240	243
に指定 等管理 費理						

備考	
----	--

III 財務諸表

(単位:千円)

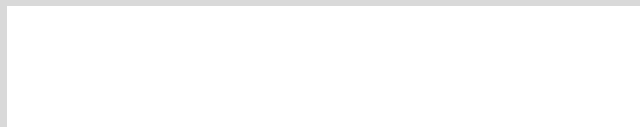
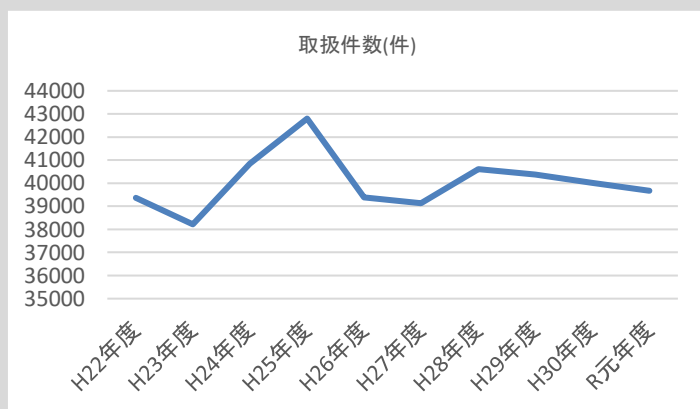
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	83,424	84,751	1,327	地方税等	0	0	0
物件費	3,185	3,628	443	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	12	12	0	使用料及び手数料	8,935	8,687	▲ 248	
減価償却費	0	2,380	2,380	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8,935	8,687	▲ 248	
賞与・退職給与引当金繰入額	4,174	9,907	5,733	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 81,957	▲ 91,991	▲ 10,034	
その他行政費用	97	0	▲ 97	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	90,892	100,678	9,786	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 81,957	▲ 91,991	▲ 10,034	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 81,957	▲ 91,991	▲ 10,034	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	4,174	4,510	336	
有形固定資産	660,786	658,406	▲ 2,380	その他の流動負債	0	0	0	
土地	584,010	584,010	0	固定負債	63,393	53,604	▲ 9,789	
建物	76,776	76,776	0	特別区債	0	0	0	
建物減価償却累計額	0	▲ 2,380	▲ 2,380	退職給与引当金	63,393	53,604	▲ 9,789	
工作物等	2,973	2,973	0	その他の固定負債	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲ 2,972	▲ 2,972	0	負債の部合計	67,567	58,114	▲ 9,453	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	593,219	600,292	7,073	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	593,219	600,292	7,073	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	660,786	658,406	▲ 2,380	
資産の部合計	660,786	658,406	▲ 2,380					

備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費が大部分を占めている。平成30年度に建物等のリース期間が満了し区の財産となったため、令和元年度から減価償却費が発生している。賞与・退職給与引当金繰入額が増加したため、行政費用が増加している。
----	---

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	4	6.7	9.7
	1㎡当たりコスト(円)	219,079	250,556	208,890	231,380	230,000
	人にかかるコストの割合(%)	95	95	96	94.0	96.0
	取扱1件当たりコスト(円)	2,347	2,700	2,271	2,538	2,400
	開所1日当たりコスト(円)	392,287	446,811	370,988	419,492	412,000
	ガス使用量(m³)	-	-	-	-	-
	水道使用量(m³)	171	177	177	190	180
	CO2排出量(t)	11	11	11	10.9	11
備考	給与関係費、賞与・退職給与引当金繰入額、減価償却費の増加により、開所1日あたりのコストが増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	取扱件数(件)	目標値 —	—	—	—	40,200
	実績値	40,612	40,376	40,023	39,675	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 廃止 ○ 民営化 ● 他施設との統合 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口					
現状・課題	○区民が快適に利用できるように誰もが利用しやすい機能の確保に努める。 ○日暮里地域活性化施設への移転を見据えながら、区民の利用に応じた施設の管理運営を行っていく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○区民の更なる利便性の向上に資するため、日暮里地域活性化施設の関連部署で連携し、新しい区民事務所の整備を進めていく。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-05		
施設名	南千住区民事務所西部ひろば館				
所在地	南千住一丁目19番13号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和42年3月24日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和42年4月1日	職員数	0人	0人	
構造	RC造	階層	地上3階		
面積	敷地面積	202.82m ² m ²			
	延床面積	361.64m ² m ²			
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○だれでもトイレ	
駐輪場の状況	15台	対応状況	○点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	貸室利用者数(人)	-	-	-	-	-
	開館日数(日)	359	359	359	360	266
に指定 等管理 費理						
備考	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から7月10日まで休館した。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	勘定科目			H30年度	R元年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	行政収入				行政収入合計(a)	行政収支差額(a)-(b)=(c)	金融収支差額(d)			
行政コスト計算書	給与関係費			0	0	0	地方税等		0	0	0	
	物件費			1,630	1,708	78	国庫支出金		0	0	0	
	維持補修費			266	905	639	都支出金		0	0	0	
	扶助費			0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0	
	補助費等			0	0	0	使用料及び手数料		167	184	17	
	減価償却費			428	428	0	その他		110	91	▲19	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)		277	275	▲2	
	賞与・退職給与引当金繰入額			0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲2,047	▲2,766	▲719	
	その他行政費用			0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0	
	行政費用合計(b)			2,324	3,041	717	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲2,047	▲2,766	▲719	
	特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲2,047	▲2,766	▲719	
貸借対照表	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	勘定科目			H30年度	R元年度	差額
	流動資産	収入未済		0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金		0	0	0	
		その他の流動資産		0	0	0	特別区債		0	0	0	
	固定資産	有形固定資産		15,213	14,785	▲428	賞与引当金		0	0	0	
		土地		215	215	0	その他の流動負債		0	0	0	
		建物		31,184	31,184	0	固定負債		0	0	0	
		建物減価償却累計額		▲16,186	▲16,614	▲428	特別区債		0	0	0	
		工作物等		630	630	0	退職給与引当金		0	0	0	
		工作物等減価償却累計額		▲630	▲630	0	その他の固定負債		0	0	0	
無形固定資産		0	0	0	負債の部合計		0	0	0			
建設仮勘定		0	0	0	正味財産		15,213	14,785	▲428			
その他の固定資産		0	0	0	正味財産の部合計		15,213	14,785	▲428			
資産の部合計		15,213	14,785	▲428	負債及び正味財産の部合計		15,213	14,785	▲428			
備考	行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料(清掃等)である。照明器具交換のため、維持補修費が増加した。固定資産の建物の価格が残っているのは、平成28年度に外壁及び屋上防水改修工事を行ったためである。											

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	50	52	53	54.2	54.0
	1㎡当たりコスト(円)	6,166	6,183	6,426	8,409	8,360
	経費に占める収入の割合(%)	13.0	13	12	9.0	13.0
	開館1日当たりコスト(円)	6,212	6,228	6,474	8,447	6,178
備考	令和元年度は照明器具の修繕を実施したため維持補修費が増加し、開館1日当たりコストが上昇した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	—	目標値	—	—	—	—
		実績値	—	—	—	—
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供					
現状・課題	○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 ○利用者実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。 ○貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。					
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。					
議会、利用者等からの意見						

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-06		
施設名	町屋区民事務所ひろば館				
所在地	町屋二丁目8番9号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和41年3月23日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和41年4月4日	職員数	0人	0人	
構造	RC造	階層	地上3階建のうち2階部分		
面積	敷地面積	町屋区民事務所敷地内 m ²			
	延床面積	48.00m ² (貸室面積) m ²			
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	区民事務所共用	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	区民事務所共用	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	貸室利用者数(人)	-	-	-	-	-
	開館日数(日)	359	359	359	360	305
に指定 用係る 等管理 費理						
備考	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から7月10日まで休館した。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	
	行政コスト計算書	行政費用	行政収入				行政収入合計(a)	行政収支差額(a)-(b)=(c)	金融収支差額(d)				通常収支差額(c)+(d)=(e)
行政コスト計算書	給与関係費			0	0	0	地方税等			0	0	0	
	物件費			59	48	▲ 11	国庫支出金			0	0	0	
	維持補修費			441	0	▲ 441	都支出金			0	0	0	
	扶助費			0	0	0	分担金及び負担金			0	0	0	
	補助費等			0	0	0	使用料及び手数料			174	134	▲ 40	
	減価償却費			0	0	0	その他			86	69	▲ 17	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)			260	203	▲ 57	
	賞与・退職給与引当金繰入額			0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)			▲ 240	155	395	
	その他行政費用			0	0	0	金融収支差額(d)			0	0	0	
	行政費用合計(b)			500	48	▲ 452	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲ 240	155	395	
	特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)			0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲ 240	155	395	
貸借対照表	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	
	流動資産	収入未済		0	0	0	流動負債			0	0	0	
		不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金			0	0	0	
		その他の流動資産		0	0	0	特別区債			0	0	0	
	固定資産	有形固定資産			0	0	0	賞与引当金			0	0	0
			土地		0	0	0	その他の流動負債			0	0	0
			建物		0	0	0	固定負債			0	0	0
			建物減価償却累計額		0	0	0	特別区債			0	0	0
			工作物等		0	0	0	退職給与引当金			0	0	0
			工作物等減価償却累計額		0	0	0	その他の固定負債			0	0	0
		無形固定資産			0	0	0	負債の部合計			0	0	0
		建設仮勘定			0	0	0	正味財産			0	0	0
		その他の固定資産			0	0	0	正味財産の部合計			0	0	0
資産の部合計			0	0	0	負債及び正味財産の部合計			0	0	0		

備考 行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料である。貸借対照表の固定資産については、町屋区民事務所に記載している。

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	-	-
	1㎡当たりコスト(円)	4,750	229	10,417	1,000	400
	経費に占める収入の割合(%)	87	2,464	52.0	422.9	50.0
	開館1日当たりコスト(円)	635	31	1,393	133	53
備考	平成29年度に組織改正を行い光熱水費や委託料等の配分が皆減したため、単位面積当たりのコストが大きく減少している。令和元年度は平成30年度に比べ修繕費が減少したため、開館1日当たりコストが減少している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	—	目標値	—	—	—	—
	実績値	—	—	—	—	—
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供					
現状・課題	○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 ○利用者実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。 ○貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。					
課題に対する現時点での考え	○建替えも含め検討していく。 ○施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。					
議会、利用者等からの意見						

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-07		
施設名	東尾久ひろば館				
所在地	東尾久三丁目5番3号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和46年3月31日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和46年4月26日	職員数	0人	0人	
構造	RC造		階層	地上4階	
面積	敷地面積		208.69m ² m ²		
	延床面積		335.35m ² m ²		
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input checked="" type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	貸室利用者数(人)	-	-	-	-	-
	開館日数(日)	359	359	359	360	266
に指定 等する 管理 費理						
備考	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から7月10日まで休館した。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	勘定科目			H30年度	R元年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	行政収入				行政収入合計(a)	行政収支差額(a)-(b)=(c)	金融収支差額(d)			
	給与関係費			0	0	0	地方税等		0	0	0	
	物件費			1,704	1,753	49	国庫支出金		0	0	0	
	維持補修費			47	713	666	都支出金		0	0	0	
	扶助費			0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0	
	補助費等			0	0	0	使用料及び手数料		346	310	▲ 36	
	減価償却費			0	0	0	その他		0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)		346	310	▲ 36	
	賞与・退職給与引当金繰入額			0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 1,405	▲ 2,156	▲ 751	
	その他行政費用			0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0	
	行政費用合計(b)			1,751	2,466	715	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 1,405	▲ 2,156	▲ 751	
	特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 1,405	▲ 2,156	▲ 751	
貸借対照表	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	勘定科目			H30年度	R元年度	差額
	流動資産	収入未済		0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金		0	0	0	
		その他の流動資産		0	0	0	特別区債		0	0	0	
	固定資産	有形固定資産		69	69	0	賞与引当金		0	0	0	
		土地		69	69	0	その他の流動負債		0	0	0	
		建物		29,281	29,281	0	固定負債		0	0	0	
		建物減価償却累計額		▲ 29,281	▲ 29,281	0	特別区債		0	0	0	
		工作物等		0	0	0	退職給与引当金		0	0	0	
		工作物等減価償却累計額		0	0	0	その他の固定負債		0	0	0	
無形固定資産		0	0	0	負債の部合計		0	0	0			
建設仮勘定		0	0	0	正味財産		69	69	0			
その他の固定資産		0	0	0	正味財産の部合計		69	69	0			
資産の部合計		69	69	0	負債及び正味財産の部合計		69	69	0			

備考 行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料(清掃等)である。照明器具交換のため、維持補修費が増加した。

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1㎡当たりコスト(円)	5,672	5,797	5,221	7,354	11,190
	経費に占める収入の割合(%)	14	16	20	12.6	18.0
	開館1日当たりコスト(円)	5,298	5,415	4,877	6,850	5,480
備考	令和元年度は照明器具の修繕を実施したため維持補修費が増加し、開館1日当たりコストが上昇した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	—	—	—	—	—	—
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他()	<input type="radio"/> 他施設との統合	<input checked="" type="radio"/> 廃止		
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供					
現状・課題	<input type="radio"/> 施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 <input type="radio"/> 将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。 <input type="radio"/> 貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。					
議会、利用者等からの意見						

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-08		
施設名	宮の前ひろば館				
所在地	東尾久五丁目45番11号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和44年3月22日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和44年6月1日	職員数	0人	0人	
構造	RC造	階層	地上4階建のうち1階部分		
面積	敷地面積	308.46㎡			
	延床面積	185.22㎡			
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input checked="" type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	貸室利用者数(人)	-	-	-	-	-
	開館日数(日)	359	359	359	360	266
に指定 等管理 費理						
備考	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から7月10日まで休館した。					

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	1,102	1,281	179	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	66	424	358	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	107	94	▲13
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	107	94	▲13
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲1,061	▲1,611	▲550
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	1,168	1,705	537	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲1,061	▲1,611	▲550
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲1,061	▲1,611	▲550	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	41	41	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	41	41	0	固定負債	0	0	0
	建物	15,169	15,169	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲15,169	▲15,169	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	41	41	0
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	41	41	0	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	41	41	0	
資産の部合計	41	41	0					
備考	行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料(清掃等)である。照明器具交換のため、維持補修費が増加した。							

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	1㎡当たりコスト(円)	21,110	7,213	6,306	9,205	7,100
	経費に占める収入の割合(%)	5	10	9	5.5	9.0
	開館1日当たりコスト(円)	10,891	3,721	3,253	4,736	3,700
備考	令和元年度は照明器具の修繕を実施したため維持補修費が増加し、開館1日当たりコストが上昇した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	—	—	—	—	—	—
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他()	<input type="radio"/> 他施設との統合	<input checked="" type="radio"/> 廃止		
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供					
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 ○将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。 ○貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。 ○敷地東側の道路拡幅が計画されており、整備計画の検討が課題である。 					
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。 ○建替えも含め検討していく。 					
議会、利用者等からの意見						

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-09		
施設名	尾久区民事務所ひろば館				
所在地	西尾久三丁目7番15号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築		国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和50年12月25日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和51年2月2日	職員数	0人	0人	
構造	RC造	階層	地上3階建のうち2・3階部分		
面積	敷地面積	尾久区民事務所敷地内 m ²			
	延床面積	111.51m ² (貸室面積) m ²			
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	区民事務所共用	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	区民事務所共用	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	貸室利用者数(人)	-	-	-	-	-
	開館日数(日)	359	359	359	360	305
に指定 等管理 費理						
備考	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から7月10日まで休館した。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	勘定科目			H30年度	R元年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	行政収入				行政収入合計(a)	行政収支差額(a)-(b)=(c)	金融収支差額(d)			
	給与関係費			0	0	0	地方税等		0	0	0	
	物件費			52	53	1	国庫支出金		0	0	0	
	維持補修費			296	0	▲ 296	都支出金		0	0	0	
	扶助費			0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0	
	補助費等			0	0	0	使用料及び手数料		219	206	▲ 13	
	減価償却費			0	0	0	その他		0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)		219	206	▲ 13	
	賞与・退職給与引当金繰入額			0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 129	153	282	
	その他行政費用			0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0	
	行政費用合計(b)			348	53	▲ 295	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 129	153	282	
	特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 129	153	282	
貸借対照表	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	勘定科目			H30年度	R元年度	差額
	流動資産	収入未済		0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金		0	0	0	
		その他の流動資産		0	0	0	特別区債		0	0	0	
	固定資産	有形固定資産		0	0	0	賞与引当金		0	0	0	
		土地		0	0	0	その他の流動負債		0	0	0	
		建物		0	0	0	固定負債		0	0	0	
		建物減価償却累計額		0	0	0	特別区債		0	0	0	
		工作物等		0	0	0	退職給与引当金		0	0	0	
		工作物等減価償却累計額		0	0	0	その他の固定負債		0	0	0	
		無形固定資産		0	0	0	負債の部合計		0	0	0	
	建設仮勘定		0	0	0	正味財産		0	0	0		
	その他の固定資産		0	0	0	正味財産の部合計		0	0	0		
資産の部合計		0	0	0	負債及び正味財産の部合計		0	0	0			

備考 行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料である。貸借対照表の固定資産については、尾久区民事務所に記載している。

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	-	-
	1㎡当たりコスト(円)	9,972	457	3,121	475	100
	経費に占める収入の割合(%)	25	388	63	388.7	220.0
	開館1日当たりコスト(円)	3,097	142	969	147	380
備考	平成29年度に組織改正を行い光熱水費や委託料等の配分が皆減したため、単位面積当たりのコストが大きく減少している。令和元年度は平成30年度に比べ修繕費が減少したため、開館1日当たりコストが減少している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	—	目標値	-	-	-	-
		実績値	-	-	-	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供					
現状・課題	○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 ○利用者実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。 ○貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。					
課題に対する現時点での考え	○建替えも含め検討していく。 ○施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。					
議会、利用者等からの意見						